

参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。

「MEDC」で簡単検索できます。

締め切り: 2013年1月13日(日)

ホームページからお申し込みできない方は、FAX(058-230-6468)でご連絡ください。
会場の都合で、各ワークショップに定員を設けております。
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承下さい。

参加費: 2,000円(資料代)学部学生無料

懇親会費: 4,000円(センター内)

受付時に徴収いたします。
資料代は、資料作成ならびに報告書「新しい医学教育の流れ」の作成の一部に使用いたします。
参加者には後日、報告書を送付いたします。(学部学生は報告書の送付は含まれません)

会場:

■おきなわクリニカルシミュレーションセンター(琉球大学医学部)



■那覇空港からセンター(琉球大学医学部)へ
【モノレールで移動】
・ルート:
那覇空港駅→[ゆいレール 首里行(14駅)]→首里駅→
(首里駅到着後は2番出口から出て車またはタクシーを利用)
→[車またはタクシー(約5.5 km)]→センター(琉球大学医学部 医学部入口)
・所要時間: 約35分
・料金: 約1,530円(モノレール320円、タクシー約1,210円)

【車で移動】
・ルート
①那覇東バイパス/国道329号線と県道29号線
(約17.6 km、約34分)
②那覇東バイパス/国道329号線
(約20.3 km、約34分)
③国道330号線
(約17.7 km、約36分)

※空港からの直行バスは、「琉大北口」行となっており、会場から2km程離れております。

■ダイワロイネットホテル那覇国際通り



・那覇空港よりゆいレールで約15分。
・ゆいレール牧志駅より徒歩約1分。



第47回 医学教育セミナーとワークショップ in 沖縄

開催要項・参加者募集

岐阜大学医学教育開発研究センターは、医学教育共同利用拠点として、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。

第47回医学教育セミナーとワークショップ(冬)は、2012年3月に開設された“おきなわクリニカルシミュレーションセンター”(琉球大学医学部)との共催で、プレカンファレンスを含め3日間で開催いたしますので、奮ってご参加ください。

岐阜大学 医学教育開発研究センター 鈴木康之
おきなわクリニカルシミュレーションセンター 大屋祐輔

日程: 2013年1月25日(金)～27日(日)

会場: おきなわクリニカルシミュレーションセンター(琉球大学医学部)
ダイワロイネットホテル那覇国際通り(プレカンファレンス会場)

プレカンファレンス Symposium on WFME Global Standard: Perspectives from East Asian experiences -Adaptation, Reformation or Quality improvement?

企画: 吉岡俊正(東京女子医科大学)

2013
冬

- WS-1 SP大交流勉強会
企画: 藤崎和彦(MEDC)
- WS-2 地域医療教育プログラム開発
企画: 武村克哉(琉球大学)
- WS-3 臨床倫理ワークショップ
企画: 金城隆展(琉球大学)
- WS-4 研修医のメンタリングとサポート
企画: 吉村仁志(MEDC/沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)
- WS-5 SPSSを用いた教育研究の統計学 ～中級編～
企画: 大西弘高(東京大学)

セミナー Understanding how we learn -Implications for Educators
講師: Dr. Farhan Bhanji(McGill University/MEDC客員教授)

見学会 おきなわクリニカルシミュレーションセンター見学ツアー ～おまけつき～
企画: 阿部幸恵(琉球大学)

全体のプログラム						
25日(金)	PM	プレカンファレンス				
26日(土)	AM	見学会				
	PM	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-5
	夜	懇親会				
27日(日)	AM	WS-1	WS-2	WS-3	WS-4	WS-5

※各々のワークショップは、一連のものです。



医学教育共同利用拠点:
岐阜大学医学教育開発研究センター
Tel: 058-230-6470
email: medc@gifu-u.ac.jp

MEDC 検索

プレカンファレンス Symposium on WFME Global Standard: Perspectives from East Asian experiences –Adaptation, Reformation or Quality improvement?

企画: 吉岡俊正(東京女子医科大学医学教育学)

日時: 2013年1月25日(金)14:00~18:00 (会場: ダイワロイネットホテル那覇国際通り)

概要: In the Era of physicians' migration and medical tourism, health care services are becoming more internationalized. Many physicians will be working at foreign institutions with different medical staff in multi-context. Whilst domestic culture, value and patients' dignity as well as physicians' professionalism must be protected, every patient seeks for high quality medical care regardless of their race, economical status or diseases. One of the key factors to meet the standard of medical care is, needless to say, the quality of medical education. World Federation for Medical Education had published the Trilogy of "Global standard for quality improvement" in 2003, a definition of international standards for medical education institutions and programs. In this preconference symposium jointed with 47th Workshop and Seminars on Medical Education by MEDC, it is our honor to invite three internationally recognized Asian experts from the Association for Medical Education in the Western Pacific Region. We seek for better understanding of the adaptation of the global standard, sharing the idea for curriculum reformation from the case study and finally predicting a future vision of quality improvement for medical education in Asia.

対象: WFMEグローバルスタンダード、カリキュラム開発に関心のある方。

定員: 30名

使用言語: 日本語、英語

セミナー Understanding how we learn –Implications for Educators

講師: Dr. Farhan Bhanji(McGill University/MEDC客員教授)

日時: 2013年1月26日(土)17:30~18:30

概要: Clinical teachers are often faced with the challenge of educating students and residents without receiving formal background training in cognitive psychology i.e. the branch of psychology dealing with mental processes such as perception, thinking, learning and memory. While many of these clinical teachers are able to learn and improve their teaching 'on-the-job', and become excellent educators in the process, a basic understanding of cognitive psychology may help these teachers reach their actual potential.

Similar to the notion that clinical medical practice requires at least a basic understanding of physiology and pathology in order to treat disease, a basic understanding of 'how we learn' may help clinical teachers become better educators. The author of this seminar distilled the key concepts of cognitive psychology into a succinct and applicable interactive presentation – *designed to help teachers improve their students' learning!*

Core concepts covered in the presentation include the basic principles of learning; the modal model of memory; Metacognition; Kolb's learning cycle; adult learning; and the development of expertise.

The presentation is designed for clinical teachers, without formal background training in Medical Education, who wish to understand how their learners think and learn. It will be a valuable resource to seminar attendees responsible for 'Resident as Teacher' or Faculty Development programs at their own institutions.

WS-1 SP大交流勉強会

企画: 藤崎和彦(MEDC)

日時: 2013年1月26日(土)13:00~17:00、27日(日)9:00~12:00

概要: MEDC主催で岐阜、徳島、東京、札幌、広島、千葉と模擬患者大交流勉強会が行なわれてきました。今回は大きく海を越えて沖縄で開催されます。

沖縄のSPさん達は全国のSPさん達との交流を望んでいても、その距離の遠さになかなか交流する機会を得られずにいました。一方で全国のSPさんの中から、何かきっかけがあれば是非、沖縄に行ってみたいという希望もお聞きました。そこで、今回は海を越えた沖縄の地で模擬患者SP大交流勉強会を開催したいと思っています。医学、歯学、薬学だけでなく、SP参加型医療コミュニケーション教育は看護はもとより、作業療法、理学療法、鍼灸士教育などにもさらに拡大を続けています。寒い1月に暖かい沖縄でパワーアップした交流会での経験交流も実現したいと思っています。全国の皆さん、是非、沖縄にお集まりください。

対象: 模擬患者参加型教育にかかわる模擬患者、教員、指導者、学生、研修医、医療スタッフ。

定員: 60名

WS-2 地域医療教育プログラム開発

企画: 武村克哉(琉球大学医学部附属病院地域医療部)

講師: 長谷川仁志(秋田大学医学部)、大脇哲洋・根路銘安仁(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

日時: 2013年1月26日(土)13:00~17:00、27日(日)9:00~12:00

概要: 医学教育モデル・コア・カリキュラムの「地域医療」に関する項目の拡充に伴い、各大学にて様々な地域医療教育が実施されています。しかしながら、その教育方法について未だ十分に確立したものはありません。地域医療を巡っては、プライマリ・ケア医と専門医、都会とへき地、海の孤島と陸の孤島など、とかく対立して考えられがちですが、すべての医学生が学ぶべき基本的な部分は共通していると思います。このワークショップでは、各地の取り組みを共有し、地域医療教育の普遍的な要素を話し合い、より効果的な地域医療教育の確立に向け、具体的な教育カリキュラムの開発を目指します。

対象: 地域医療教育に関心のある方。

定員: 30名

WS-3 臨床倫理ワークショップ

企画: 金城隆展(琉球大学医学部附属病院地域医療部)

講師: 本村和久・金城紀与史・屋良尚美(沖縄県立中部病院)

日時: 2013年1月26日(土)13:00~17:00、27日(日)9:00~12:00

概要: 高度化し価値感が多様化する臨床の現場において、豊かで複雑でユニークな人間的・社会的現実に対応することが出来る幅広い医療倫理教育の必要性がますます高まっています。そこで今回、「ナラティブ」と「ナンクルナイサ(沖縄の倫理的生き方)」という二つのキーワードを手掛かりに、皆で読み、書き、考え、互いに共有しあう参加型医療倫理教育の可能性を探るワークショップを企画・開催することにしました。「命」を尊び(1)、他者を愛し(2)、平和を愛する精神(3)が広く定着している沖縄を一例として、地域の伝統的な倫理を学びながら、もう一度、自身(地域)の倫理を見つめ直し、そして、倫理教育の幅を広げてみませんか? 皆様の参加をお待ちしております。
(1)命どう宝 (2)行違れば兄弟(イチヤリバチョーデー)→「縁があって一度出会えば皆兄弟」という意味
(3)万国津梁=世界を結ぶ架け橋という意味

対象: 医療倫理教育に関心のある人で、医療倫理教育をもっとおもしろくしたいと思っている人。医療倫理に関心ある人で、すこし違った医療倫理のアプローチを知りたい人。沖縄的な生き方に関心のある人。

定員: 20名

WS-4 研修医のメンタリングとサポート

企画: 吉村仁志(MEDC/沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児腎臓科)

講師: 尾原晴雄(MEDC/沖縄県立中部病院総合内科)、青野真弓(MEDC/聖路加国際病院)、岡田唯男(亀田ファミリークリニック館山)

日時: 2013年1月26日(土)13:00~17:00、27日(日)9:00~12:00

概要: 卒後臨床研修の現場での研修医のサポートは、皆が必要と感じながらもなかなか十分なケアができていないのが現状である。どうした場合にどのような介入をするのか、指導の難しい研修医への対応、メンタリング、臨床研修事務の視点の3つをとりあげて討論する。

対象: 臨床現場の指導医、臨床研修プログラム責任者や研修管理委員会の医師、後期研修医、初期研修医、臨床研修事務を担当するスタッフの方々。

定員: 30名

WS-5 SPSSを用いた教育研究の統計学 ~中級編~

企画: 大西弘高(東京大学医学教育国際協力研究センター)

日時: 2013年1月26日(土)13:00~17:00、27日(日)9:00~12:00

概要: 教育研究を実施しようとしたときに、統計学的な解析に自信が持てれば、量的研究への障壁は、かなり下がってくるだろう。今回は、エクセルなどを用いた一定の解析はできるものの、その先の変量解析などに進めないという人たちのために、統計学の考え方を感じ取っていただきたい。
なお、SPSSを試用版などでダウンロードしたコンピュータを持参してください。

対象: 概要に合致する方。

定員: 16名

おきなわクリニカルシミュレーションセンター見学ツアー ~おまけつき~

企画: 阿部幸恵(琉球大学おきなわクリニカルシミュレーションセンター)

講師: 武村克哉(琉球大学医学部附属病院地域医療部)、板橋綾香(琉球大学おきなわクリニカルシミュレーションセンター)

日時: 2013年1月26日(土)10:20~12:10

概要: おきなわクリニカルシミュレーションセンターは、沖縄県内のすべての医療系学生及び医療職を対象としたシミュレーション訓練のための施設であり、沖縄県の地域医療再生事業の一環である。去る3月25日にオープンしたセンターは総面積2,250㎡、3階建て、日本最大級のシミュレーション施設である。1階にはER室、集中治療室、手術室などを想定した部屋、2階は病室、外来、在宅など医療を提供する様々な場が再現出来る15部屋、そして3階は集団でのシミュレーションから講演や研修会で利用できる多目的ホールからなる。医療を提供する様々な場を再現できる工夫が施されている。今回のツアーでは、「医療教育におけるシミュレーション教育の意義と実際」をテーマとしたミニ講演、そして各階でシミュレータやシミュレーションプログラムを体験しながら全館を見学するという体験型の見学である。

対象: おきなわクリニカルシミュレーションセンターに興味のある方。

定員: 40名

